

【作り方説明書】

バニースーツの型紙

■詳細対応サイズ ・58cm ソフビ L 寄 (スマド未確認)	■難易度 イージー/ノーマル/【ハード】/ハード↑/エクストラ
■サンプル使用生地 of 厚み 0.25mm	■用意するもの ・薄手～やや薄手生地 ・薄手の生地(裏地用) ・面ファスナー
■手縫い可否 OK	■布に書き写すパーツリスト ①前身頃 表布 1枚→そのまま1枚 ②前身頃 裏布 1枚→ // ③④前脇 表布 1枚→左右反転して2枚 ⑤⑥前脇 裏布 1枚→ // ⑦⑧後身頃 表布 2枚→ // ⑨⑩後身頃 裏布 2枚→ // ⑪⑫後脇 表布 2枚→ // ⑬⑭後脇 裏布 2枚→ // 合計：14枚 のパーツで構成

■必要な布量参考数値

【バニースーツ 58cmL寄】

横90,110,140cm

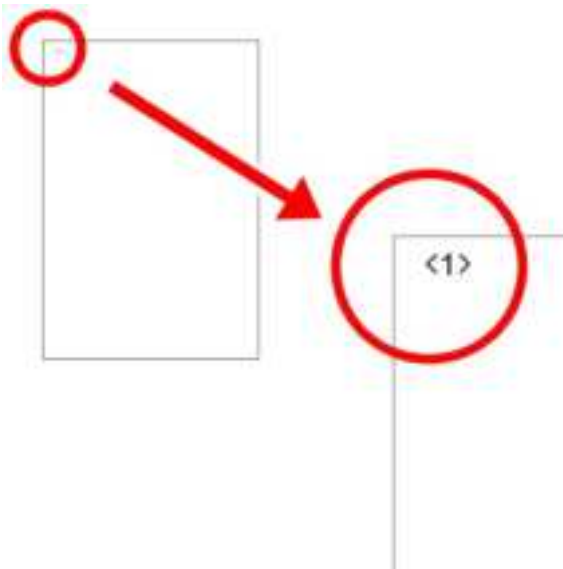
縦23cm

縦23cm
*別布

01. 型紙を貼り合わせる

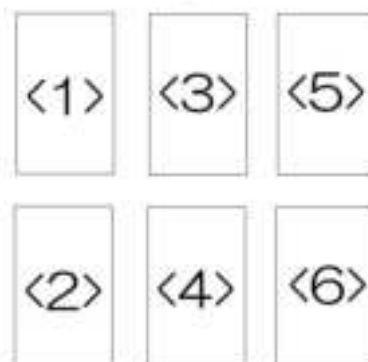
① 型紙に割り振られている番号を確認する。

〔番号は型紙の左上に記載
 ※①～④の右図は全型紙共通で使用しています。
 型紙の種類によって貼り合わせる枚数、数字は違います。
 枚数、貼り合わせ数字については各型紙をご覧ください。〕

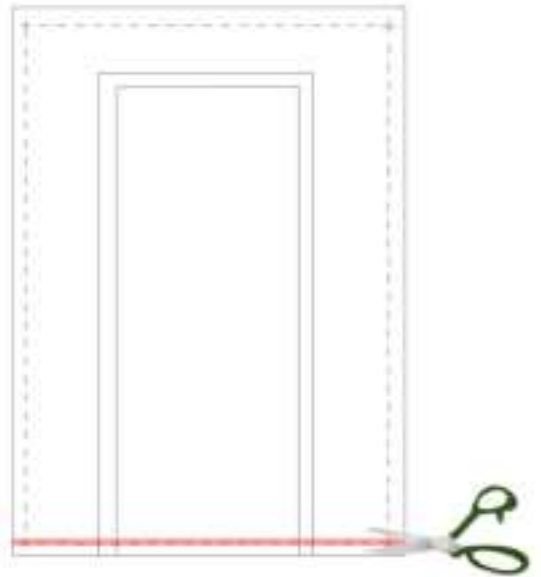


② <1>の型紙に記載されている通りに型紙を並べる。

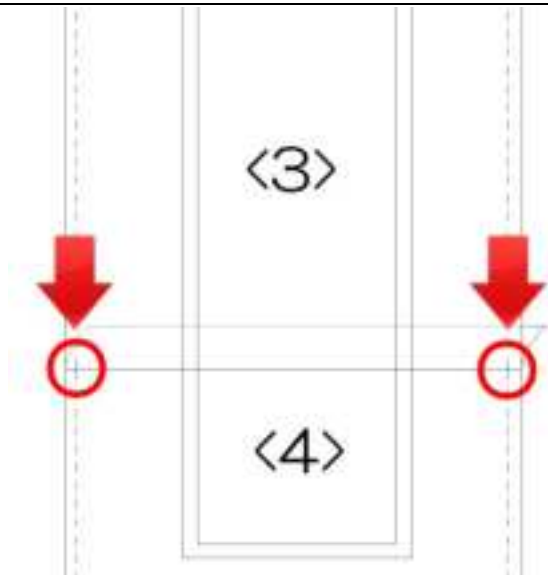
〔「青色の数字の型紙貼り合わせる」という箇所に記載。〕



③ 点線に沿って、型紙が繋がる方だけカットする。

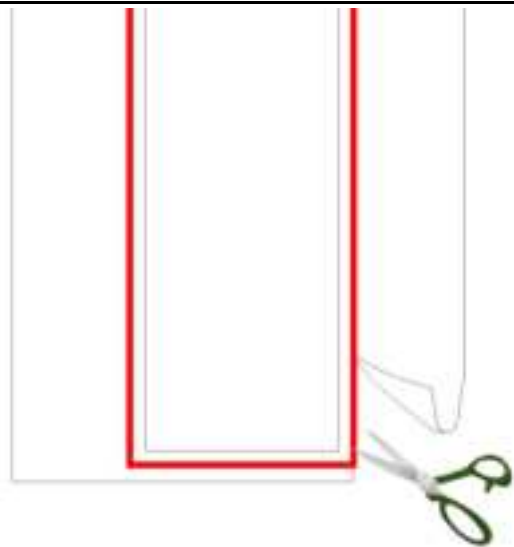


④ <5>の上部のガイドに③の下部を合わせて、表裏両方をテープで留める。



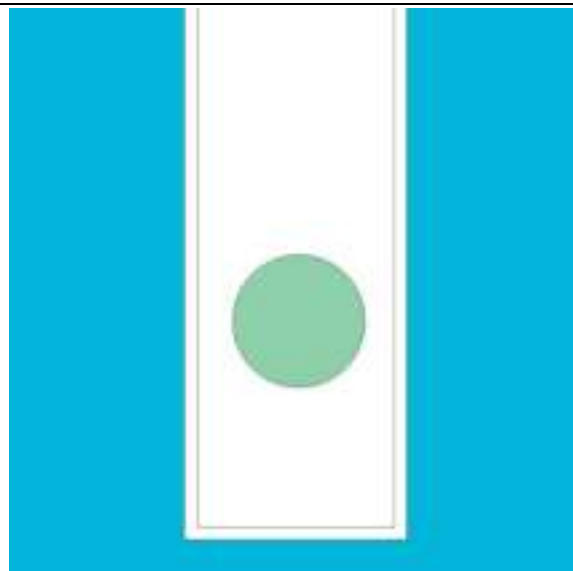
02. 型紙を切り取る。

〔 02～07 の右図は全型紙共通で使用
しています。〕



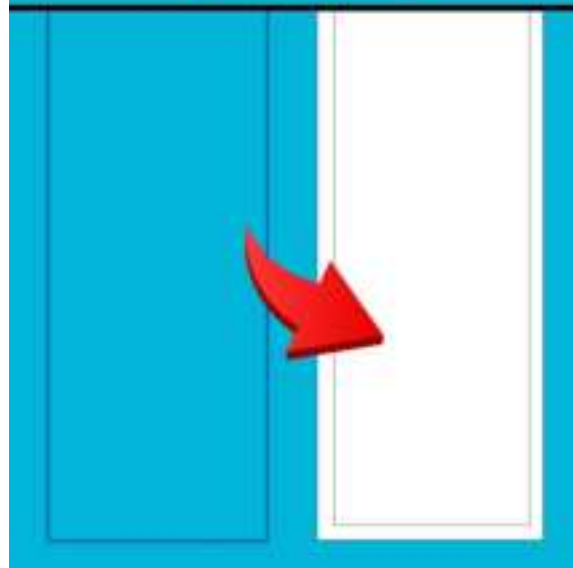
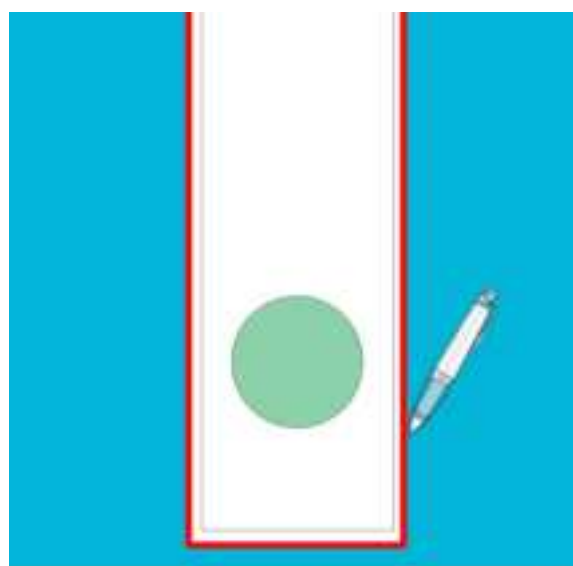
03. 布を裏にして型紙を置く。

- 〔 まち針で留めず、ペーパーウェイト等で
型紙が動かない様にする。〕

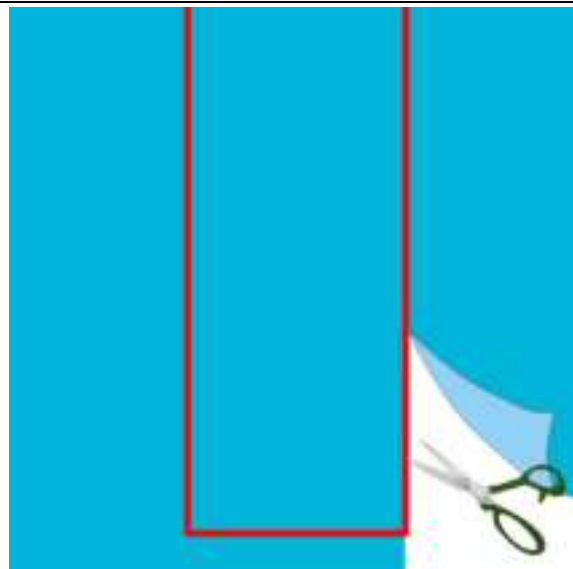


04. 型紙の外側をなぞって布に写す。写したら型紙は一旦避ける。

- 〔 ※オススメのチャコペン
・カリスマシャープペンシル(使用中)
・クロバー 水性チャコペン 〕

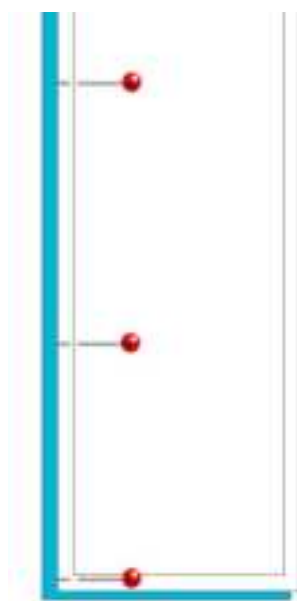


05. 04 で写した線に沿って布を切る。



06. 切り取った布に型紙をのせてまち針でとめる。

〔 型紙と布がずれないようにするだけなので、
細かくとめる必要はない。〕



07. “切りじつけ” をする。(①～⑧)

① しつけ糸を針に通し、糸が2本になる様にする。

〔玉止めはしない。〕



② 紙の上から出来上がり線に針を刺していく。

A. 型紙から刺す

B. 布を刺す

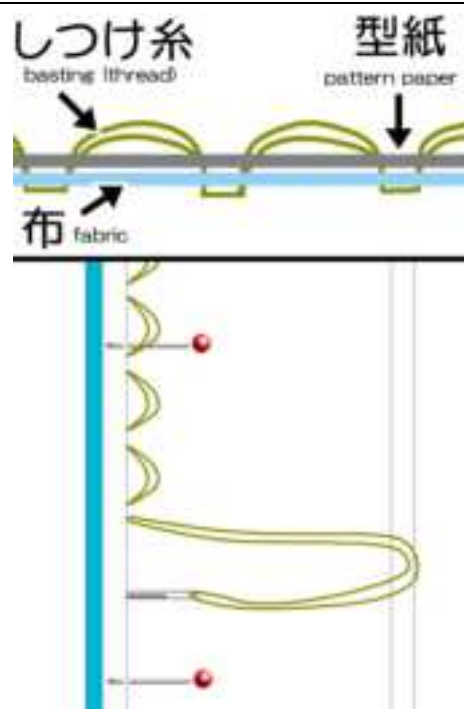
C. 0.3cm 程度すくうように縫う

D. 型紙を刺す

E. 糸をたるませつつ 1.5cm 程度空けて再度型紙を刺す

A～E を繰り返す。

〔上側はたるませて、下側の糸はたるませない。
全ての線を写す必要はないので、細かく針を刺さなくても良い。〕



布の表
right side

- ③ 角や合い印は下側(布側)から見て
+ に見えるように針を刺す。

型紙側
Paper pattern side

合い印
notches

布の表
right side

④ 上側のたるませた糸を切る。



⑤ まち針を抜く。

⑥ 糸を抜かない様に型紙だけを抜き取る。



⑦ 長い糸は 3mm 程度に切る。
〔糸を抜き取らない様に注意。〕



⑧ しつけ糸が抜けないうえに、アイロンか指で糸を寝かせる。



08. 前身頃の W (ウエスト)から上に切り込みを入れる。
〔 ウエスト部分にも切り込みを入れる。〕

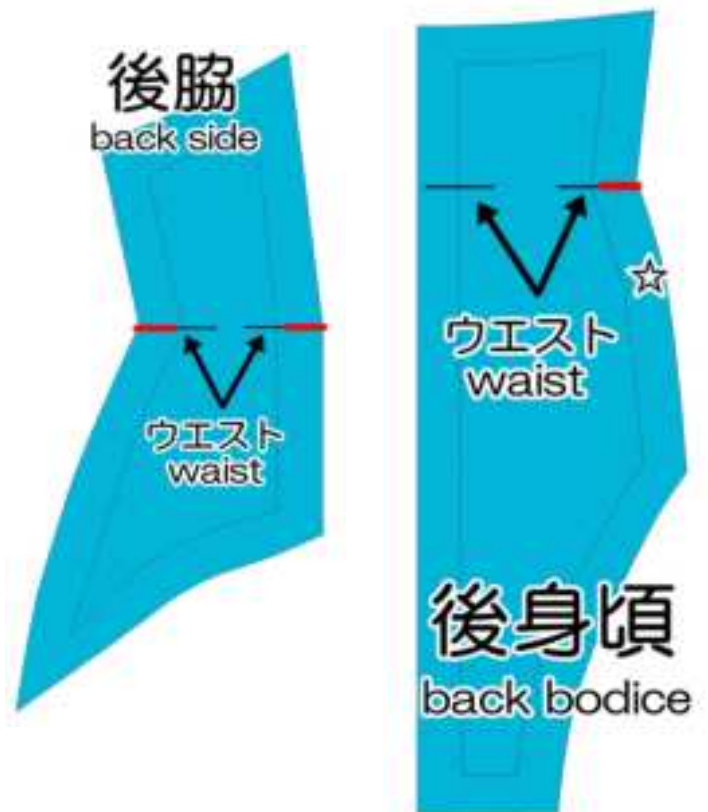


09. 前脇×2のW、△、Wから下のカーブに切り込みを入れる。



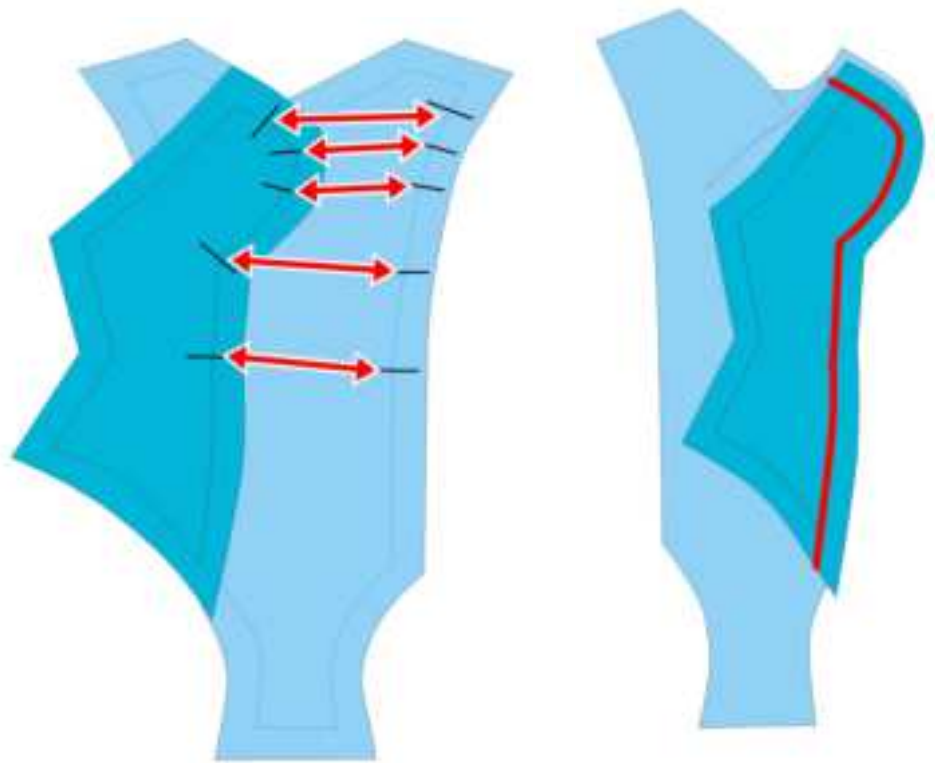
10. 後脇×2、後身頃×2のウエストに切り込みを入れる。

〔後身頃は☆側のみ切る。〕



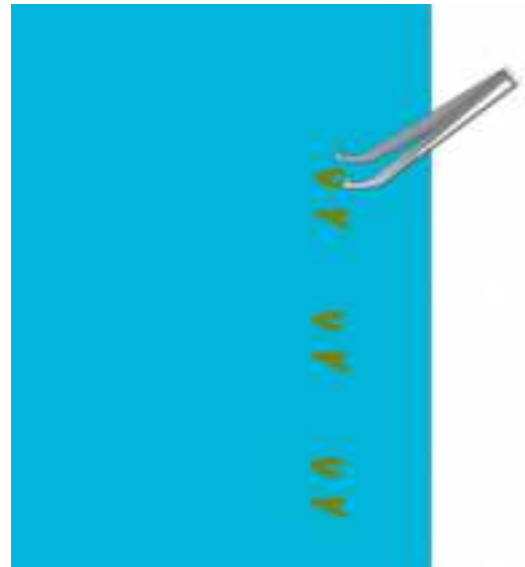
11. W、三 を目印に表が内側になるように、前身頃と前脇を合わせて縫う。

〔 反対側も同じように縫う。〕



12. 縫ったところのしつけ糸を抜く。

〔 しつけ糸が取り辛い時は、糸抜きや毛抜き等で抜く。
以降、縫ったら余分なしつけ糸はその都度抜いていく。〕



13. 縫い代を前身頃に倒して、アイロンをかける。



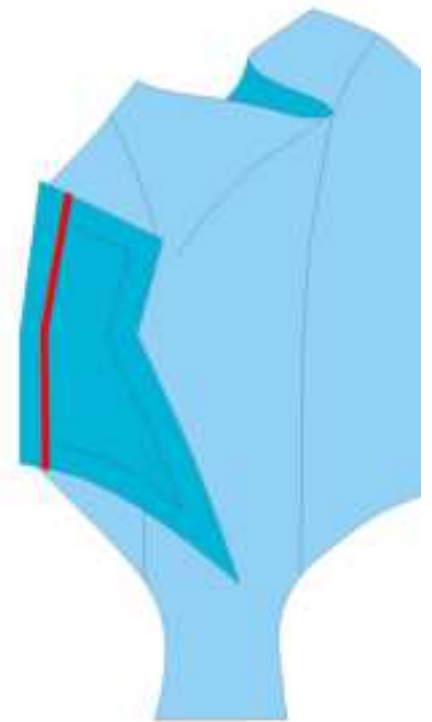
横から見た時

Side view

前脇
front side

前身頃
front bodice

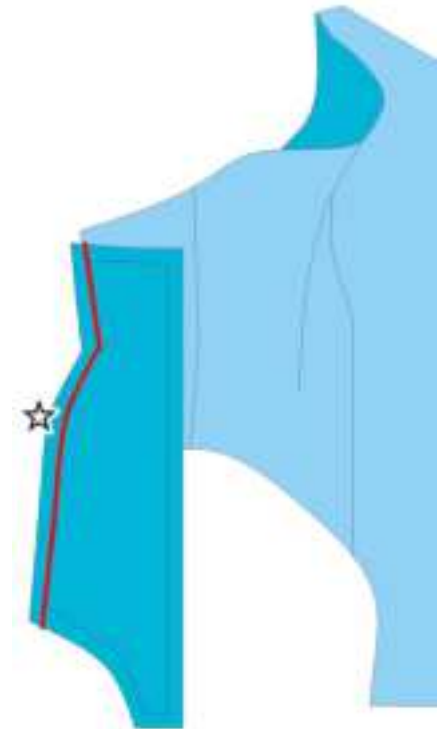
14. 表が内側になるように 13 と後脇を合わせて縫う。
〔 反対側も同じように縫う。〕



15. 縫い代を開いてアイロンをかける。
〔 反対側も同じようにアイロンをかける。〕

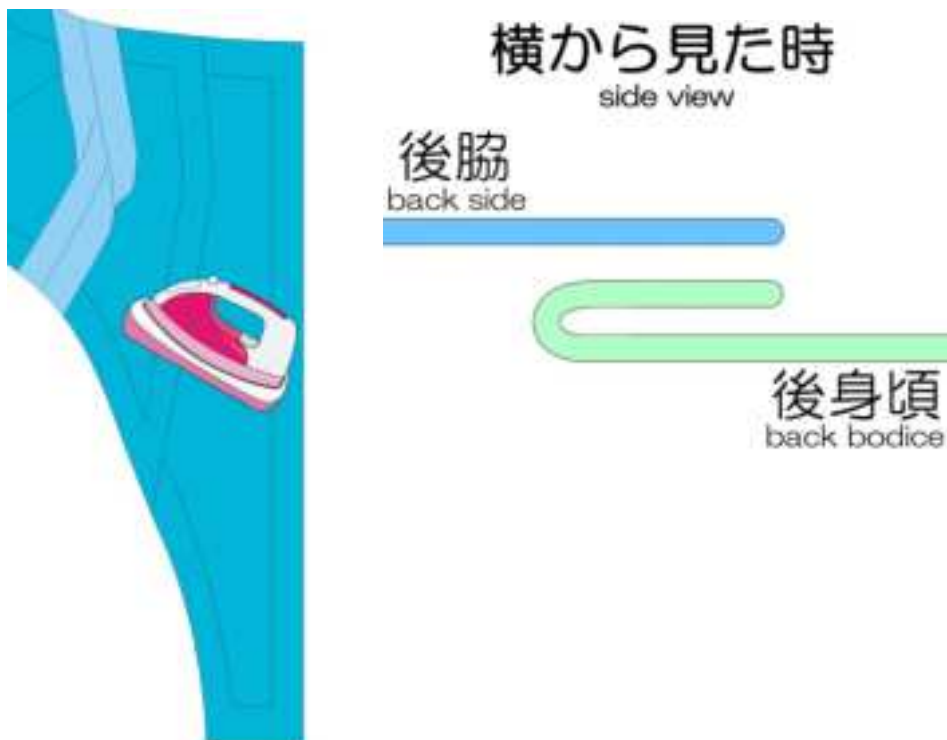


16. 表が内側になるように 15 と後身頃を合わせて縫う。
〔 ☆同士を合わせる。
〔 反対側も同じように縫う。〕



17. 縫い代を後身頃に倒して、アイロンをかける。

[反対側も同じようにアイロンをかける。



18. 裏布も同じように進める。

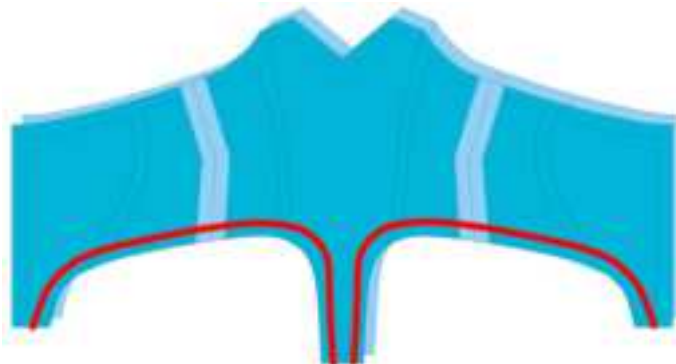
19. 表が内側になるように、
表布と裏布の上部を合わせて縫う。

〔 矢印の箇所は、メリハリが出る様に、
必ず出来上がり線通りの角で縫う。
角ではなくカーブになってしまうと、
出来上がりにシャープさが無くなる為注意。〕



20. 表布と裏布の下部を合わせて縫う。

〔 捻じれた状態で縫わないように注意。〕



21. 余分な縫い代をカットする。

〔出来上がり線から2mmくらい外側。〕



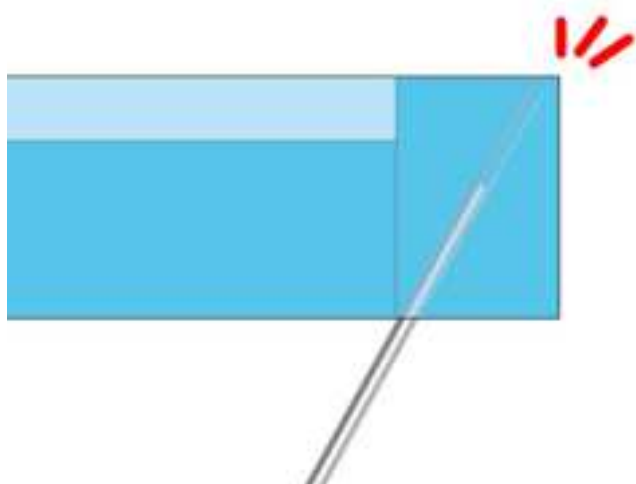
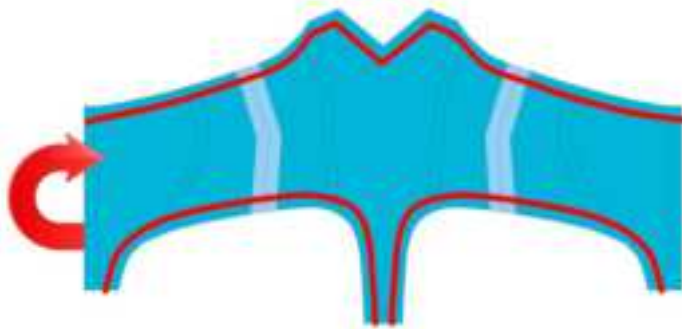
22. ひっくり返して、太い針の“糸を通す方”で角を優しく押し出す。

〔布団等の太い針を使う。〕

ない場合は竹串やつまようじの“尖っていない方”などでも代用出来る。

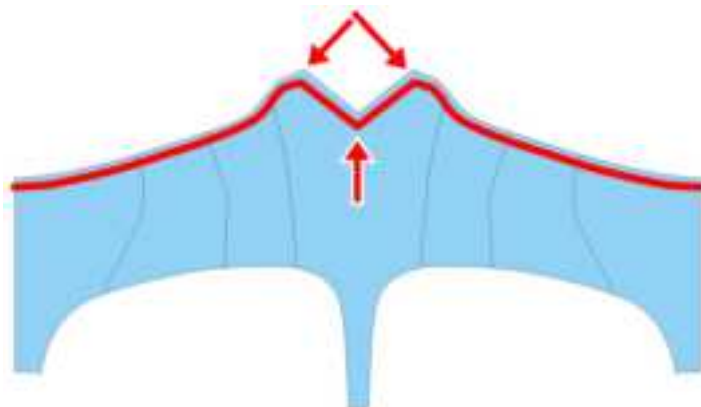
あくまでも優しく内側から押して角を出す。

強く押ししたり、尖ったもので押ししたりすると貫通し布が傷む可能性も。

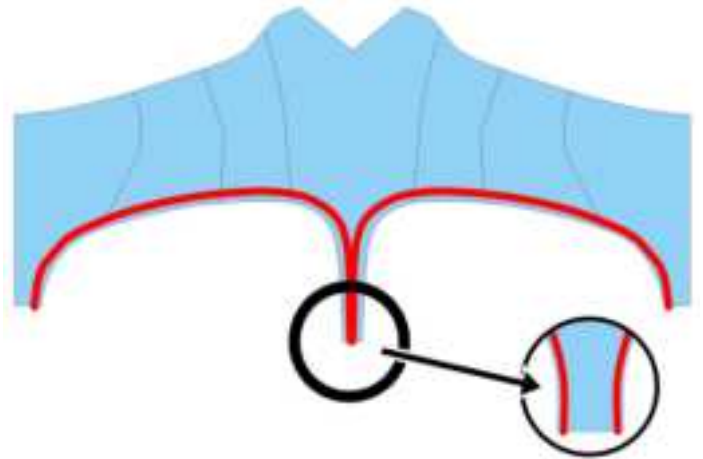


23. 上部の縁を縫う。

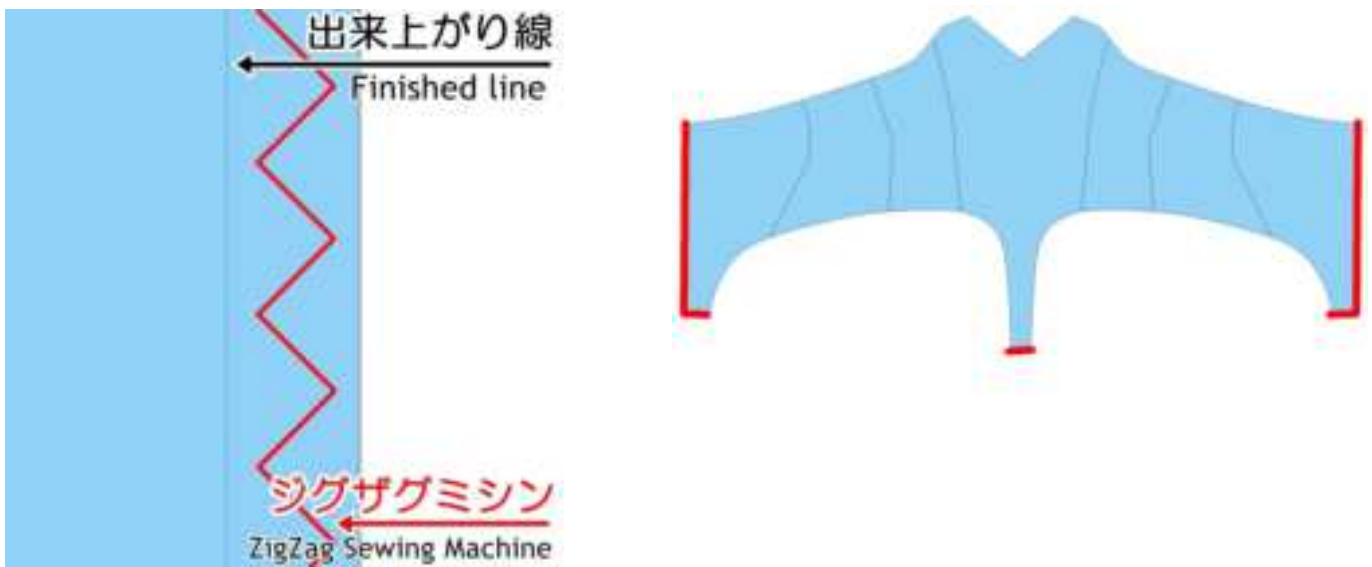
〔矢印の箇所は、縫い目がカーブにならない様にしっかりと角になる様に縫い進める。〕



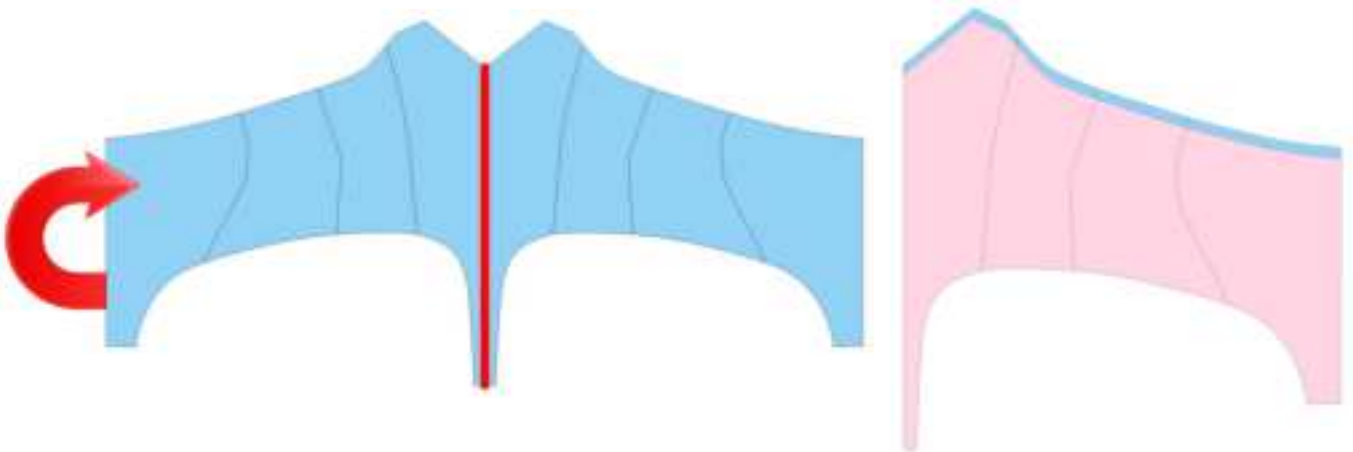
24. 下部の縁を縫う。



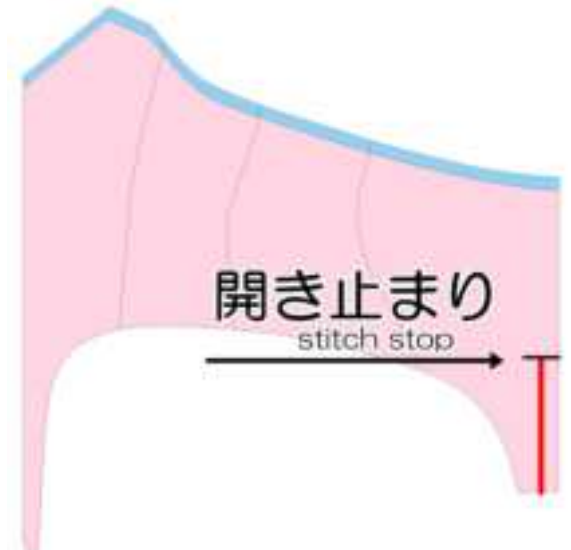
25. 後身頃の直線と股下、前身頃の股下にロックミシンか、家庭用ミシンのジグザグで縫う。



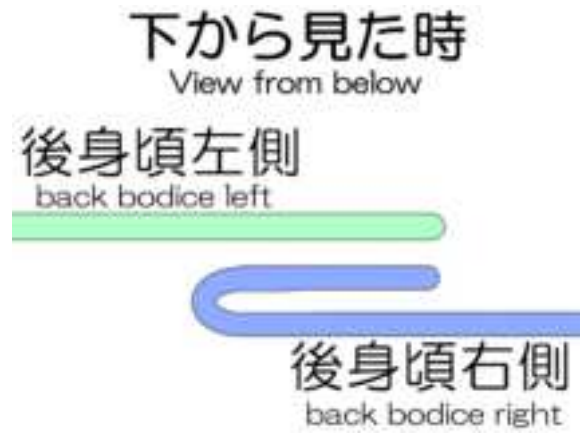
26. 表が内側になる様に、前中心を合わせる。



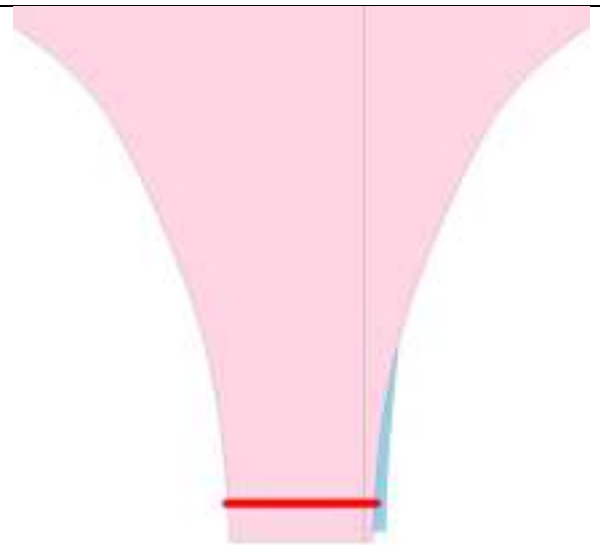
27. 股下から開き止まりまでを縫う。



28. 裏布から見て縫い代を右に倒して、アイロンをかける。



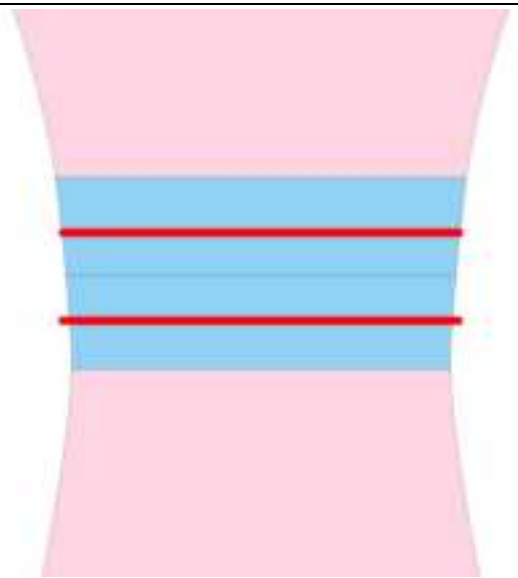
29. 表が内側になる様に、股下を合わせて縫う。



30. 縫い代を開いてアイロンをかける。



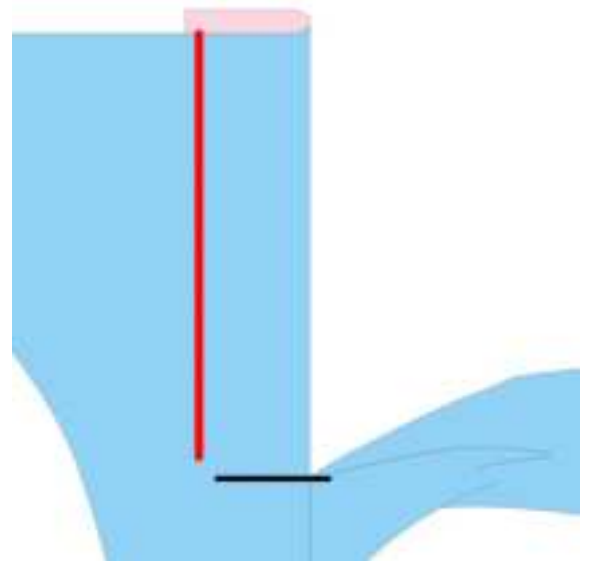
31. 30 の縫い代を抑える様に縫う。



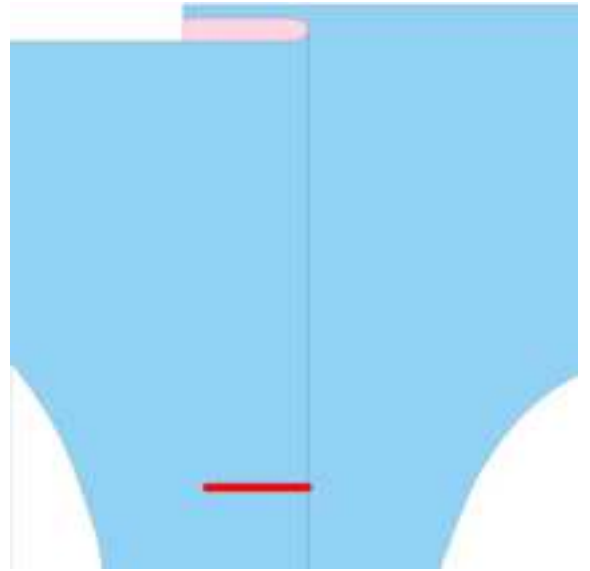
32. 表に返す。

33. 表布から見て左の縫い代をしつけ糸で仮縫いする。

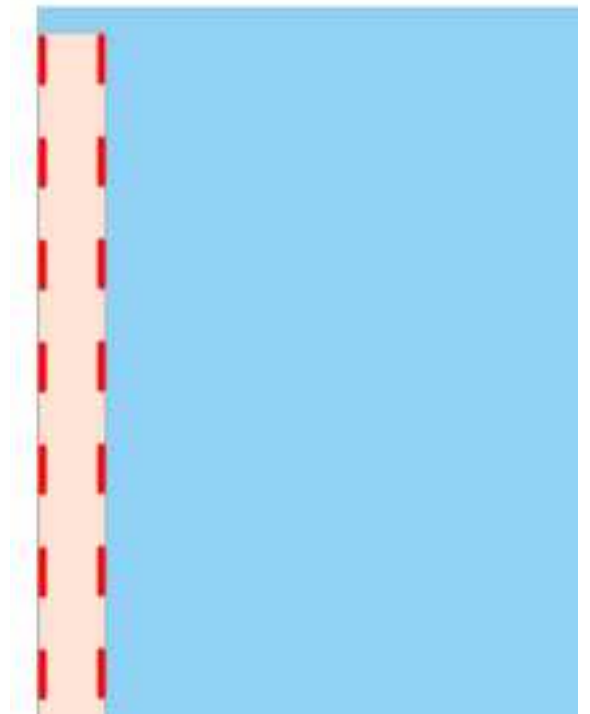
〔 右側の縫い代を巻き込まない様に注意。〕



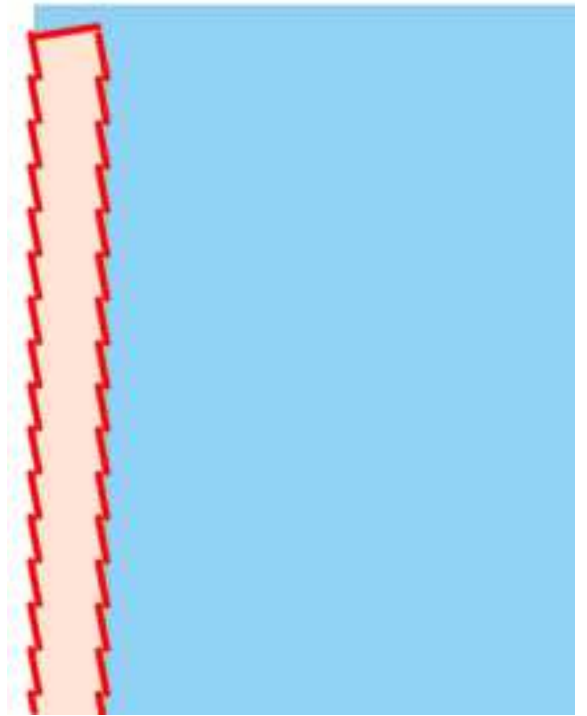
34. 開き止まりから直角に 0.7cm くらい縫う。
〔手縫いでもOK。〕



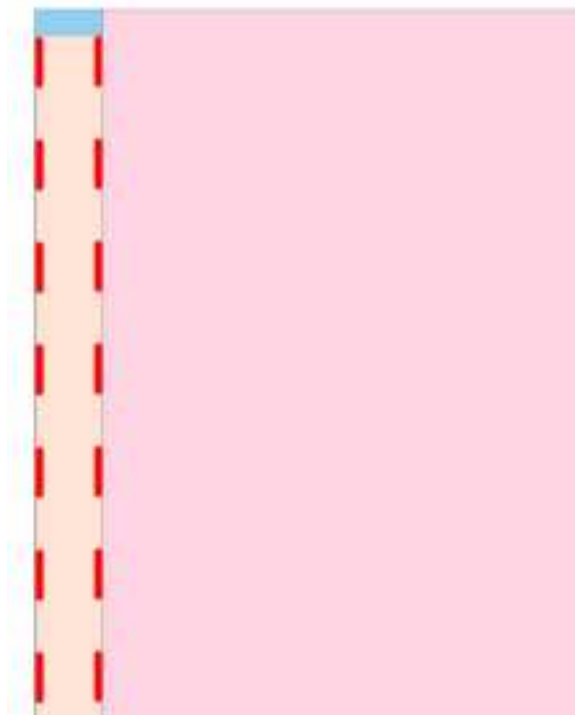
35. 後身頃右側の縫い代に、
面ファスナーをしつけ糸で仮縫いする。



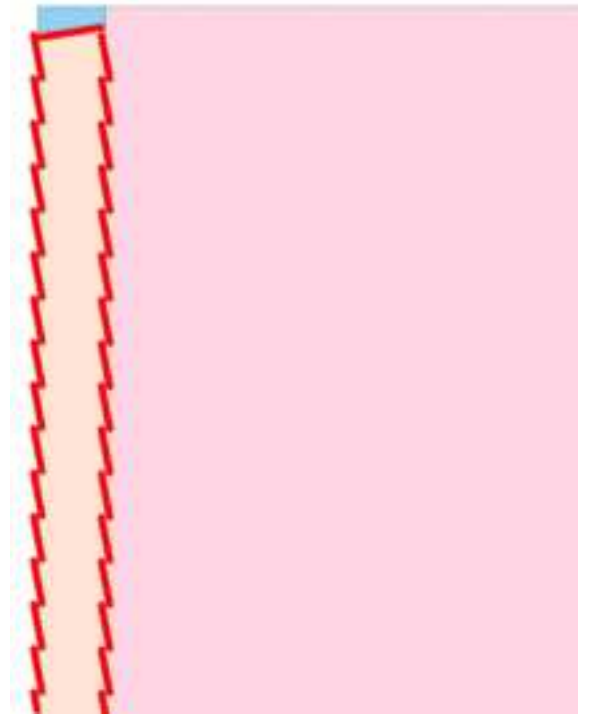
36. 35 で仮縫いした面ファスナーの周りを、まつり縫いで付ける。



37. 後身頃左側の縫い代に、面ファスナーをしつけ糸で仮縫いする。



38. 37 で仮縫いした面ファスナーの周りを、まつり縫いで付ける。



39. 33 で縫った仕付け糸を抜く。

お疲れ様でした！